

レジリエント部門

応募事例名

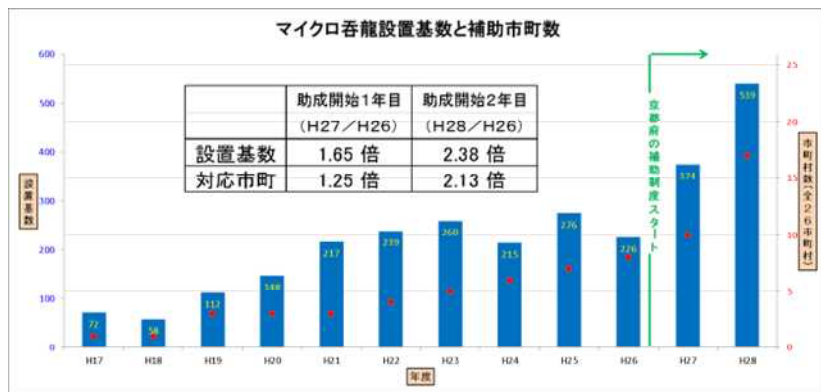
マイクロ呑龍1万基構想

応募団体名)京都府

応募事例の概要

京都府では、浸水被害の軽減を図るため、河川改修などの「流す」対策と、貯留施設の「貯める」対策を総合的に進めており、特に「貯める」対策については、府民総ぐるみの取組を進めており、都道府県で初めて「雨水タンクの補助制度を設けている市町村に対して補助する制度(マイクロ呑龍)」を平成27年度に設けたところ。

府内に多くのマイクロ呑龍を設置することにより、浸水被害の軽減や地震時のトイレ補給水など府民の生命財産や経済活動等を保護・保全する強靱な社会の構築に寄与する。



大幅増
2.4倍

設置された基数と対応市町の推移



広報ステッカー

雨水 タンク 購入費	(例) 1基4万円の場合 補助額 4万円×3/4=3万円		
	自己負担額 4万円-3万円=1万円		
	自己負担 (1/4)	市町村補助 (1/2 又は 1/4)	府補助 (1/4)

自己負担割合(1/4)

[理念編]



[設置編]



動画サイト
(You-Tube公開中)

PRポイント

設置者は市町村窓口での申請で、府の補助も含めて設置費用の3/4を受け取ることができる。You-Tubeでの動画公開、関係市町、メーカー・店舗と連携したPR、出前語らい、ラジオでの広報等様々な広報を同時に展開した。設置基数は大幅に増加し、助成対応前後で約2.4倍(H28/H26=539基/226基)となっている。